

平成 23 年度 第 2 回 海岸工学委員会 議事録

開催日時： 平成 23 年 11 月 9 日（水）18:30—20:00

開催場所： アイーナ岩手（岩手県民情報交流センター）

出席者： 磯部相談役，水口相談役，間瀬委員長，後藤幹事長，青木，荒木，池谷，伊藤，今村，Esteban，長谷部（大山委員の代理），岡安，木村，黒岩，小野（黒木委員の代理），上月，小林，佐々木，猿渡，津田，西田，野口（藤田委員の代理），松本，三嶋，森，八木，山田，山本，横木の各委員，小笠原，柿沼，北野，栗山，榊山，佐藤，重松，諏訪，武若，丹治，藤間，陸田，森屋，渡部の各委員兼幹事，山城オブザーバー

資料： Power Point スライド（資料 1）

委員の追加（委員長指名）について（後藤幹事長）

新たに相談役として磯部先生（東京大学），柴山先生（早稲田大学）が就任される事が報告された。また，山城氏（九州大学）を委員兼幹事とすることに於いて審議され，了承された。

前回議事録の確認

前回の平成 23 年度第 1 回海岸工学委員会（平成 23 年 6 月 17 日）の議事録案が確認，了承された。

報告事項

(1) 出版企画の募集について

数値波動小委員会において，できるだけ早期に出版物を発行できるよう準備が進行中であることが報告された。

(2) 平成 22 年度活動度評価

いずれの項目でも A 評価，総合 A 評価であった事が報告された。

海岸工学論文集第 58 巻 発刊準備状況について

・海岸工学論文集第 58 巻 最終審査報告と発刊準備状況（青木編集小委員長）

第 2 段査読まで通過した論文 279 編について現在 J-stage で公開中である。現在 J-stage で公開中である。今年の国際セッションの proceedings への登載論文は 11 編であった。次年度以降の登載件数増加が望まれる。

・ **著者負担金について（後藤幹事長）**

著者負担金を 35,000 円，論文集を 5,000 円とする。

・ **通常号掲載分の講演会発表枠の創設（後藤幹事長）**

土木学会論文集 B2 (通常号) 掲載分からの発表枠の創設案について提案，承認された。対象論文は 4 月上旬時点で通常号への採択が決定している論文である。発表を希望する場合には申込料 20,000 円を徴収する。なお，本件の投稿者が海岸工学講演会の登壇者と重複する場合には，当面例外として取り扱う。

・ **来年度の出版形態について（後藤幹事長）**

印刷物の出版を来年度も同じ形態で継続する事が確認された。

海岸工学論文賞候補論文および海岸工学論文奨励賞の創設について（後藤幹事長）

・ **海岸工学論文賞候補論文**

審査の結果次の 3 編に授与される事が決定された

- 1) 気液二相流の界面力学的境界条件適合スキームの開発と風波生成過程への応用
渡部靖憲，岩下厚志
- 2) 津波干渉合成法による遠地津波の波形予測に関する研究
泉宮尊司，小林雄一，坂井実可子
- 3) GPS 波浪計で捉えた平成 23 年東北地方太平洋沖地震津波
河合弘泰，佐藤真，川口浩二，関克己

・ **海岸工学論文奨励賞**

海岸工学論文奨励賞案が提案され，次年度から導入する事が決定された。候補者は 32 歳以下の筆頭著者で過去に同賞の受賞経験がない者とし，受賞者は最大 3 名とする。海岸工学論文賞との同時受賞は認めない。投稿システムの変更，投稿システム公開時に奨励賞創設を開示する為の準備を進める事が確認された。

第 58 回海岸工学講演会の実施状況について（小笠原委員）

8 日終了時点での記帳者は 410 名，各会場に 60 名ずつ程度人が入っている事が報告された。

第 59 回海岸工学講演会の準備状況について（陸田委員）

第 59 回海岸工学講演会の準備状況（会場予約状況，見学会案，予算等）について報告された。

日程： 平成 24 年 11 月 14 日（水）－16 日（金）

会場： 広島国際会議場を予約済み

第 60 回海岸工学講演会の準備状況について（山城委員）

第 60 回海岸工学講演会の準備状況（会場，日程，予算等）について報告された。

日程： 平成 25 年 11 月 13 日（水）－15 日（金）

会場： 九州大学医学部百年講堂同窓会館

Coastal Engineering Journal について（佐々木 CEJ 副小委員長）

出版状況，投稿状況，Tohoku Earthquake Tsunami Special Issue の来年 3 月に向けた準備状況について報告された。またカラー印刷についてはオンラインのみの場合は無料で，紙面でもカラーにする場合は 1 ページ 140 ドル必要である事が報告された。また，今年の CEJ Awards 受賞論文について報告された。

広報小委員会 活動報告（森小委員長）

今年から早稲田大学 Esteban 先生が委員として参加する事が報告された。沿岸災害データベースのスタート，英語 web の充実化等の活動報告がなされた。

沿岸域研究連携推進小委員会 活動報告（重松小委員長）

2011 年 12 月 15 日に開催される流域圏シンポジウムに主催の一員として海岸工学委員会が参加する事が報告された。

地震・津波複合災害の推定手法および対策研究小委員会活動報告（富田副小委員長）

2011 年の活動報告，2012 年の活動予定の報告がなされた。

数値波動小委員会 活動報告（岡安小委員長）

「数値波動水槽 一砕波帯波浪計算の深化と耐波設計の革新を目指して」の出版に向けて編集作業中である事が報告された。会議中 1 次版下が回覧された。

地球温暖化適応策検討小委員会 活動報告（横木小委員長）

平成 23 年度の活動報告がなされた。

第 47 回，第 48 回水工学に関する夏季研修会（B コース）について（陸田委員，渡部委員）

第 47 回研修会での参加者数，アンケート結果，改善要望等について報告された。参加費の改善要望については，現在の参加者数のままでは会費の値下げは難しい事が確認された。

第 48 回研修会は，平成 24 年 8 月 27 日 - 28 日に北海道大学にて開催予定である。数値波動小委員会のサポートで，若手研究者，大学院生，民間企業研究者向けの数値計算に関する研修会を企画したい旨，報告がなされた。

土木学会震災特別委員会関連の活動について（間瀬委員長，佐藤委員，今村委員）

- ・津波推計・減災検討委員会が設立された事が報告された。
- ・土木学会誌 2012 年 3 月/ 4 月津波特集号が 12 月に校了予定である事、「1 年後」シンポジウム等が予定されている事、震災報告書（DVD アーカイブ）を刊行予定である事等が報告された。津波アーカイブ（写真、各データ等をまとめた科学的なアーカイブ）を作成予定である事が報告されると共に、写真提供への協力が要請された。また、Yahoo や Google の津波動画の保存プロジェクトと連携する可能性について、検索の共有は可能であろうとの議論がなされた。
- ・平成 23 年 4 月に活動を始めた津波特定テーマ委員会において、津波最大規模の推定や被災メカニズムの推定、津波対策のあり方についての検討がなされており、平成 24 年 3 月の国際会議まで活動を継続する事が報告された。

その他

- ・ASCE から贈られた盾について（後藤幹事長）：Coastal Structures 2011 で ASCE から贈られた盾を土木学会応接室に置く事が確認された。
- ・APAC 2011（後藤幹事長）：APAC 2011 の日程が確認された。
- ・広報小委員会より（森小委員長）：Coastal jp が今年中にリプレイスされる事がアナウンスされた。津波データベースが現在のリリースからバージョンアップされる予定である事が報告された。

（議事録：猿渡）